

## 2024年度第1回京都競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 門松ステークス

門松（かどまつ）は、正月に家の門口に飾る松の飾り。本来は年神（としがみ）の来臨する時の依り代の意味を持つ。一般的には竹・松などを用いるが、地方によってはナラ・サカキ・シキミなどの常緑樹を用いる。

#### ○ 万葉ステークス

万葉（まんよう）は、現存する最古の和歌集である『万葉集』の略称。大伴家持が編纂に携わったとされ、仁徳天皇期から淳仁天皇期までの短歌・長歌・旋頭歌など約4,500首が収録されている。

#### ○ スポーツニッポン賞京都金杯（GⅢ）

本競走は、1963年に創設された『迎春賞』を前身とする重賞競走。1966年に『スポーツニッポン賞金杯』と改称するとともに、別定重量戦となった。その後、1981年にハンデキャップ戦となり、1996年から東西で行われる金杯を区別するため、現在の競走名に改称された。また、2000年には距離が2000mから1600mに短縮された。

スポーツニッポン新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

### <第2日>

#### ○ 琵琶湖特別

琵琶湖（びわこ）は、滋賀県の中央部を占める日本最大の湖。古くは淡海・近江海・鴉（にお）の海などとも呼ばれていた。名は、形状が楽器の琵琶に似ていることに由来する。

#### ○ 新春ステークス

新春（しんしゅん）は、新年、正月の別称。1954年に国営競馬が日本中央競馬会へと移管されて以来、現存する最も古い競走名のひとつ。

#### ○ すばるステークス（L）

すばるは、牡牛座にある散開星団、プレアデス星団の和名。数多くの星によって構成されているが、肉眼で確認できる星は6個程度であることから、「六連星（むつらぼし）」とも呼ばれる。

## <第3日>

### ○ 蹴上特別

蹴上（けあげ）は、京都市東山の一地区。傾斜に線路を引き、動力を用いて船を引っ張り上げたインクライン軌道跡があることで有名。

### ○ 寿ステーキス

寿（ことぶき）は、祝うべき事柄。また、祝いの言葉や儀式のこと。

### ○ 日刊スポーツ賞シンザン記念（GⅢ）

本競走は、シンザン号の栄誉を称え 1967 年に創設された重賞競走。同馬は、1964 年にセントライト号以来 23 年ぶり、日本競馬史上 2 頭目の三冠制覇という偉業を達成し、翌年には『天皇賞（秋）』と『有馬記念』も制して五冠馬の称号を得た。引退後も種牡馬として活躍し、1984 年に顕彰馬に選出された。

日刊スポーツ新聞社は、東京など全国に 5 ヶ所の本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第4日>

### ○ 五条坂特別

五条坂（ごじょうざか）は、清水寺への参道のひとつ。途中で清水新道（茶わん坂）と呼ばれる道と分岐する。かつては清水焼の窯元が数多くあり、現在でも道沿いには陶器店が軒を連ねている。

### ○ 紅梅ステーキス（L）

紅梅（こうばい）は、紅色の花が咲く梅。『源氏物語』第四十三帖の巻名でもある。梅は、中国原産のバラ科の落葉高木。300 種類以上の品種があり、大別して野梅系・緋梅系・豊後系がある。花言葉は「忠実」「優美」。

### ○ 淀短距離ステーキス（L）

淀（よど）は、京都市伏見区の地名。名は、川の水が淀むことに由来する。宇治川・桂川・木津川の合流点付近を占め、旧河床や自然堤防を利用した野菜栽培が盛んであったが、近年は急速な宅地化が進んでいる。また、京阪電鉄京阪本線の駅名にもなっており、京都競馬場の最寄り駅としても知られている。

## <第5日>

### ○ 逢坂山特別

逢坂山（おうさかやま）は、滋賀県大津市西部と京都府の境、比良山中にある山。別名「関山」とも呼ばれる。鈴鹿関、不破関と並んで三関に数えられる逢坂関が置かれ、平安京の防衛に重要な役割を果たした。この関から東の地域を東国、関東と呼んだ。

### ○ 雅ステークス

雅（みやび）は、宮廷風であること、上品で優美なこと。江戸時代の国学者本居宣長は、平安時代の和歌、物語を含む古代文化の中心にあるものを「みやび」と呼んだ。

### ○ 日経新春杯（GⅡ）

本競走は、1954年に『日本経済新春杯』として創設された重賞競走。1979年に現在の競走名に改称された。1981年から1993年までは別定重量戦で実施されていたが、1994年にハンデキャップ戦に変更され、現在に至る。

日本経済新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第6日>

### ○ 若駒ステークス（L）

若駒（わかごま）は、若い馬のこと。本競走は、春のクラシック戦線を占う一戦として知られている。

### ○ 宇治川特別

宇治川（うじがわ）は、京都府宇治市から京都盆地へと流れ出る川。琵琶湖を水源として流出する唯一の川で、上流部では瀬田川と呼ばれ、京都と大阪の府境付近で桂川や木津川と合流して淀川となる。宇治市内の河岸には、平等院や宇治上神社などがある。

### ○ 石清水ステークス

石清水（いわしみず）は、石清水八幡宮の略称。石清水八幡宮は、京都府八幡市にある旧官幣大社。都からみて裏鬼門に位置しており、鬼門に位置する比叡山延暦寺とともに都の守護、国家鎮護の社として崇敬を受けてきた。

## <第7日>

### ○ 北大路特別

北大路（きたおおじ）は、京都市街地北部を東西に走る幹線道路。東は白川通りから西は金閣寺前に至り、沿道には大徳寺や船岡山公園などがある。烏丸北大路には、バスターミナルや地下鉄の駅があり、京都市北部の交通の拠点となっている。

### ○ 羅生門ステークス

羅生門（らしょうもん）は、平安京の条坊都市の中央を南北に貫いた朱雀大路の南端に構えられた大門、「羅城門（らじょうもん）」の後世の当て字。芥川龍之介の短編小説の題としても有名。

### ○ 東海テレビ杯東海ステークス（GⅡ）

本競走は、1984年に創設された『ウインターステークス』を前身とする重賞競走。当初は12月にダート2200mで実施されるGⅢ競走であった。1990年からは2300mに延伸、1997年にGⅡへ格上げ、2000年には実施時期が5月へ移された。その後、2013年より実施時期を1月に移すとともに、1800mで実施されるようになった。なお、第1着馬には同年の『フェブラリーステークス』への優先出走権が与えられる。

東海テレビは、愛知県名古屋に本社を置く放送局。1958年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。